

ホームID	ホーム名		法 人 名		評 価 日			
2816	ライフ&シニアハウス川越南 七彩の街		株式会社 生活科学運営		H29.1.30			
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク				H29.2.14			
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	A	C
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	C
1.3.2	A	A	2.4.1	A	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	B
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	C
2.2.3	A	A	4.2.1	A	C	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	B	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	C	7.5.5	A	B
2.2.7	A	A	5.2.1	B	A	7.5.6	A	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	B	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	B	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	B			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-3-3	サービスの質向上に向けて、フロント会議、リーダー会議、ハウス会議の各会議で内容に応じて協議し、改善を図っている。さらに、法人全体で、業務改善を目的とした小集団活動（GA活動）においても、品質向上を目的として、住み替えルールの見直しを活動テーマに設定し取り組んでいる。これらの取り組みを通じて、人材育成および職員のモチベーションの醸成を図り、サービスの質向上につなげている。
2-3-4	食事アンケートや体操アンケートを実施し、入居者の意向や満足度の把握に努めていて、アンケート結果を踏まえ、用具を使用した3B体操の回数を増やしている。また、介護体操の「ゆうゆう体操」について、ハードなものやソフトなものを用意してほしいという要望があり、入居者が状態に応じて、選択できるような両方の体操を実施し、希望に応じている。アンケート結果を活かした、的確な対応で利用者満足を目指している。
5-1-1	食事は職員の管理栄養士と調理員によって作られ、四季折々の特別食の提供に加え、毎日和食と洋食の朝食、夕食は肉料理か魚料理等の選択食を実施している。さらに、昼食では定食以外にセレクトメニューとして、カレーや麺セットなどを用意しており、地域の人にも開放することで交流の機会にもなっている。また、ライフハウスでは選択食をその時の気分で選ぶことができるなど、柔軟なサービスとして入居者から喜ばれている。
6-2-1	介護支援専門員は、2年間分のアセスメントやケアプラン、モニタリングなどが一目で解るケアプラン管理一覧表を作成している。管理一覧表により入居者個々に対して長期的かつ計画的に見直すしくみを整えている。また、入居者の状態に応じて随時ケース会議を開く等、多職種がそれぞれの関わりの中から収集した入居者の生活状況や身体状況を検討し、具体的に反映できるケアプランの作成に取り組んでいる。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-2-11	入居契約書に、退居時には通常の使用に伴い生じた居室の損耗を除き、原状回復することを入居者に求めている。また、管理規程にも原状回復に関して、入居者負担分の説明を記載している。しかしながら、退去時のクリーニング費用を入居者負担とする等「国土交通省の原状回復ガイドライン」に適合していない部分も見受けられ、原状回復ガイドラインを踏まえて、取扱規程を整備することが求められる。
2-4-1	入居者からの金品の授受についての取り決めを明文化したものが用意されていない。また、内部研修等で職員に周知されていない。入居者から菓子を渡されたとき等、長年の良好な関係から受け取る場合は、ホーム長に報告して指示を受けるようにしている。今後は、職員研修やミーティングで金品授受の禁止、やむを得ない場合の対応を周知するとともに、明文化することが望まれる。
4-2-1	コミュニケーション技術の向上に向けた研修を法人で実施しており、1名の職員が参加したが、伝達研修が行われていない。入居者に対して理解力を深め、安心感をもたらすためのコミュニケーション技術を多くの職員が習得できるようハウスとしての取り組みが期待される。ミーティングなどの時間を使うなどにより内部研修や伝達研修を行い、さらなるコミュニケーション技術の向上に努められたい。
5-1-2	毎食後の食事量のチェックはシニアハウスの入居者に対しては行っているが、ライフハウスでの残量チェックは実施していない。日常的な残量チェックから、献立の好みや味付け、調理状況などが確認できるため実施を検討されたい。また、法人統一の食事アンケートを実施しているが、さらに入居者から直接意見を聞くために、食事に特化した懇談会や会議などを開催する等、入居者の要望や満足度の把握に取り組まれたい。